

月刊喜界島ジオパーク令和6年12月号

小中学校におけるジオパーク給食とジオパーク学習

喜界島ジオパーク推進協議会 事務局員 土屋純子

喜界島ジオパーク推進協議会では教育委員会、各小中学校、防災食育センター、農業振興課など、地域の様々な機関の皆様との協力のもと、昨年度より「ジオパーク給食」と「ジオパーク学習」をスタートし、今年度もパワーアップして開催しています。

ジオパーク給食

「ジオパーク給食」は、喜界島の大地の恵みから育まれた作物や、島ならではの食文化を給食に取り入れ、食を通じて学ぶ取り組みです。「ジオパーク」+「パーク給食」を表現して生まれました。防災食育センターで、月に1回程度決めてもらってジオパーク給食の日に行っています。今年度取り上げた内容は、オクラ、パイナップル、ぶすいぼーなどです。ジオパーク給食では、子どもたちが食材

に込められたストーリーをより深く理解できるように、食材などの説明を記載した資料を配布しています。この資料は私たち喜界島ジオパーク推進協議会事務局が作成しており、農家の皆さんや農協などを訪問して取材を行い、丁寧に仕上げられています。取材の際には、皆さんの温かい協力をいただいています。

内容は、小学1年生から中学3年生までの子どもたちの理解しやすい点を重視しながらも、重要なポイントをしっかりと伝えることを心がけています。また、現地に足を運び、写真を撮影しています。これにより、資料が見てもわかりやすく、親しみやすいものとなるよう工夫しています。

喜界町の児童、生徒の皆さんに食べることを通じて、おいしく、楽しくジオパーク

給食で、喜界島を知ってもらっています。

ジオパーク学習

ジオパーク学習は、喜界町の小学校3年生以上と喜界中学校の生徒を対象に行っている取り組みです。今年度からは、昨年度からの座学に加え、実際に学校の外での校外学習体験を通じて学ぶ内容が充実しました。



体験活動としては、サンゴの石垣修復や地層湧水見学、ビーチクリーンなどがあります。

の石垣修復や地層湧水見学、ビーチクリーンなどがあります。

す。また、喜界島サンゴ礁科 学研究所の見学や、牛のセリ市場、畜産農家の見学などを行って行きます。これらを通じて、喜界島の土壌に根差した豊かな自然や、そこから派生した産業を学ぶ機会となっています。牛舎見学では、生まれたばかりの牛に名前を付けさせてもらった班もあり、セリにかけられる3月に見学に行くそうです。



牛舎見学 牛へのエサやり体験

座学では、サンゴとサンゴ礁の違い、喜界島の成り立ち、

他の島との比較など、喜界島サンゴ礁科学研究所の研究者による専門的なレクチャーをしています。また、小中学校の先生方には7月に座学と体験ツアーを実施し、学習内容を実際に体験していただきました。

サンゴやサンゴ礁をはじめ、農業、畜産業、研究、歴史文化、そこから生まれた食べものなど喜界島にはたくさん魅力があります。これらの素晴らしさを知ってもらうため、皆さんと連携しながら、この取り組みを今後も続けていきます。そしてこの喜界島のことを知って、もっと大好きになってもらいたいと思っています。



百之台での校外授業